

議会運営委員会 研修報告

平成29年1月25日～27日

滋賀県大津市議会では、議会版業務継続計画（議会BCP）、電子採決等について、兵庫県宝塚市議会では、個別賛否公表、政策研究会等について研修した。

災害時の議員・議会の行動は

大津市では、各地での



滋賀県大津市での研修風景

【人 口】	
大津市	342,428人
宝塚市	225,153人



よりよい議会の姿をめざして

電子採決、個別賛否公表については、議案に対

大規模災害を契機に、災害時の議会・議員の役割や行動を定めた議会BCPを定めている。災害対応は執行部が行うが、議会としても情報収集や復旧・復興の議論を早急に開始するというもの。非常時における議員に求められる行動を再認識した。

する各議員の賛否を議会だよりやホームページで公表している。議会の審査状況を市民に知ってもらうような努力も必要である。また、両市とも政策研究会を立ち上げ、議会からの政策・条例の提案に力を入れている。市政のチェック機能に加え、執行部への提案も議会の重要な使命であり、今後この部分を強化していく必要がある。

今後、現状に満足することなく、常に問題意識を持ち、市民が求める議会の姿をめざしてステップアップする必要があると改めて感じた。

今回の「ちくご市議会だより」から、個別の賛否状況を掲載しています。

議会だより編集 特別委員会 研修報告

平成29年2月8日～9日

見やすく

わかりやすい紙面に

滋賀県竜王町を訪ね「りゅうおう議会だより」について研修した。研修には、同町議会の編集委員全員が参加し、互いの紙面へ意見交換を含めた研修となった。

同町の議会だよりは、昨年度の全国町村議会広報コンクールで奨励賞を受賞している。とても見やすく、中学生でも読めるよう工夫されている。しかし、元々そうではなく、先進自治体や各種研修会などに参加する中で、現在の紙面に達したそうだ。5年前と現在の紙面



滋賀県竜王町での研修風景

【人 口】	
竜王町	12,286人

を見比べながら説明を受けたが、その変化には驚かされた。全面写真の迫力ある表紙、それに続く2、3ページ。この面は、先に読み進むか、進まないのかの鍵を握る重要な紙面で、特に力を入れているとのこと。条例なども、何がどう変わったのかを中心に掲載し、写真も多く取り入れ、見やすいように心がけている。

過去の質問事項に対しその後どうなったか、追跡・検証する記事の掲載など、工夫もされている。今後の紙面改善に向け、大いに参考になる研修であった。